



日本維新の会 **柳沢 貴雄**  
災害応急対策について 12



**問**市は震災に備え、市民の生命・財産・安全を守ることができるのか市長に伺う。

**答**市長 市民の生命・財産を守るためには、公共施設や道路などインフラのハード対策を進め災害に強いまちづくりを実現すると同時に、災害対応に係るマニュアル等の整備や訓練といったソフト対策、また国や他の自治体等との連携強化が必要となるが、大きな災害の発生を考えると、行政だけでなく自助や共助も合わせた総合的な防災力の向上が重要と考える。災害が発生したときに日頃の防災・減災の取り組みや訓練の成果が問われるが、これからも努力を惜しまず改善を重ねていく必要がある。

☞ふるさと納税の進捗状況 ☞災害応急対策



川越志政会 **倉嶋 真史**  
旧9カ村の歴史文化保存 14



**問**旧9カ村の失われた歴史文化を学ぶことで、郷土愛の醸成につながると考えるが、市の見解について伺う。

**答**教育総務部長 令和5年12月に認定を受けた川越市文化財保存活用地域計画では、地域の人々が大切に守り伝えたいと思うものを全て歴史遺産と考えている。失われた歴史遺産についても、川越市の現在を形作ったピースの一つでもあり、地域の人々が大切に思うものを、地域の人々と共に学び、調査していくことで、先人の歩みを振り返り、ゆくゆくは地域への愛着として受け継がれていくものと考えている。

☞旧九か村の歴史文化保存



初雁自由政令会 **村山 博紀**  
人口減少対策と子ども政策 16



**問**超少子高齢化の加速的な進行に歯止めをかける必要がある。そのための課題はさまざまあると認識しているが、市長として何を最優先に取り組むべきと考えているか。

**答**市長 人口減少対策では、20歳代の転出超過が課題である。企業立地や地元就業の情報提供支援など、職住近接や子育て支援を行い、20歳代の社会減を縮小させることは、優先して取り組むべき事項の一つと認識している。

子ども対策の課題としては、貧困や虐待、ヤングケアラーなどの状況にある子どもへの支援がある。伴走型による妊娠期からの切れ目のない支援等、安心して子どもを産み育てることができる環境整備が重要である。

☞人口減少対策子ども政策



川越志政会 **糸 真美子**  
貧困対策に体験活動を 13



**問**教育的効果も認められ、子どもの将来にも影響するとされるが、生活困難層の子どもは経済的な理由等で体験活動が得られていない。推進すべきだが本市の考えは。

**答**栗原副市長 子どもの体験活動の現状としては、家庭の経済状況等の成育環境によって体験活動に格差が生じている等の課題が指摘されている。国でも近年、体験格差に焦点を当てた調査を行っていることから、本市としても、令和5年度に実施した子ども・若者の意識と生活に関する調査の結果を踏まえ、子どもたちの体験格差を生じさせないように、体験活動への参加機会づくりにつながるような施策について検討したいと考えている。

☞子どもの貧困対策



無所属 **小林 薫**  
(仮称)西公民館建設 15



**問**今定例会に、(仮称)霞ヶ関北市民センター建設予算が提案されている。次は(仮称)西公民館建設と聞いていたが、それでよいのか。

**答**市長 整備の順序としてはそういうようなことを考えている。



☞防災井戸

☞市長の政治姿勢



参政党 **加藤 みなこ**  
ワクチン接種記録の延長を 17



**問**今回のワクチン接種やパンデミックは歴史的な緊急事態であったが、国の予防接種法の記録保存期間は5年である。接種記録の保存延長を市長はどう考えるか伺う。

**答**市長 新型コロナワクチン接種に関する事務は、国の方針に従って進めてきている。また、ワクチンの有効性および安全性に関するデータの収集・分析や予防接種健康被害救済に係る審査などは国が実施している。このようなことから、接種記録の保存期間については、自治体が個々に判断をするのではなく、統一的な対応を行うべきであり、国の動向を注視していきたいと考えている。

☞教科用図書の採択

☞学校ファームに食農教育

☞ワクチン接種記録の延長